



Bulletin for Tokyo Metropolitan University Alumni

TMU 首都大学東京同窓会
春季会報 12号
2017年5月20日 発行

発行者 首都大学東京同窓会
〒192-0364 東京都八王子市南大沢 1-1
直 通 電 話 042-670-7702
F A X 042-677-2894
大 学 内 線 042-677-1111(内線2181)
郵便振替口座 00150-0-426678
URL:http://www.comp.tmu.ac.jp/dousoukai/
E-mail:tmu-al@tmu.ac.jp
印 刷 京浜印刷株式会社
〒140-0013 東京都品川区南大井4-7-3



多様性の容認

首都大学東京同窓会 会長 黒石 輯あつむ
(都立大学法経学部経済学科14期卒)



今般、母校の理事長川淵三郎氏が退任され、後任に島田晴雄氏が就任された。川淵前理事長は、多忙な身でありながら母校の発展によく尽力されただけでなく、多くの学生や教職員に慕われていた。学部名の変更や常用するロゴマークの設定などの確に推進され、私ども同窓会の意向も受け止めていただいたとの思いがある。退任が惜まれる。

島田新理事長は慶応義塾大学教授、千葉商科大学学長を歴任され、大学運営に造詣が深いとお聞きしている。私ども母校のさらなる発展に寄与していただけるものと期待している。

拙宅と母校のある南大沢との往復4時間程度の電車は、私にとって恰好の書斎になっている。駅前書店で気儘に購入しているが、たまたま手にした本に思わぬ拾い物をしたとの思いを抱くことがある。

その内の一冊が「逆転の大中国史」(楊海英 静岡大学教授)。

この説によると、唐王朝を樹立したのは、漢民族ではなく

遊牧騎馬民族の鮮卑拓跋人であるという。この事実が、1980年に内モンゴル自治区の洞窟で発掘された石碑文にて確認されたとのことである。

私どもは、「唐」とは優れた文明を誇った中国の大帝国であり、国際色豊かな国でもあったと学んだが、なぜ阿倍仲麻呂や胡人の安祿山などの異邦人が高位高官に叙せられるほど国際性豊かでありえたのか、釈然としないものがあった。しかし、楊教授の説を知って「唐」の国際性をやや納得した感がある。

境(さかい)意識の希薄な遊牧民だからこそ、風俗・習慣・宗教等に囚われず、つまり多様性を当然のことと受け入れ、能力に応じて人材を登用しえたのではないか。このことは、占領地の多様性を容認し興隆の礎を築いた古代ローマと同様に、「唐」繁栄の原動力になったはずである。

今や、移民排斥や保護主義が声高に叫ばれだしているだけに、多様性を容認し繁栄を遂げた歴史上の国々に思いをはせることも必要ではないだろうか。



島田 晴雄 理事長
しまだ はるお

経 歴

昭和18年2月21日生れ
昭和40年3月 慶應義塾大学 経済学部卒業
昭和49年6月 博士号(労使関係学)取得 ウィスコンシン大学
昭和57年4月 慶應義塾大学 経済学部 教授
昭和61年3月 MIT 訪問教授

公立大学法人首都大学東京の理事長が交代しました。

第2代理事長の川淵三郎氏は、平成29年3月をもちまして退任され、新しい理事長として島田晴雄氏が就任されました。ここに氏のプロフィールをご紹介します。

昭和62年1月 ESSEC 交換教授
平成12年6月 東京大学先端科学技術研究センター客員教授
平成16年4月 ㈱富士通総研 経済研究所 理事長
平成19年4月 慶應義塾大学 名誉教授
平成19年4月 千葉商科大学 学長
平成21年7月 勸日本フィルハーモニー交響楽団 理事長
平成26年7月 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 会長・理事
平成29年1月 公益財団法人 日本国際フォーラム 理事長

現 在

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 会長・理事
慶應義塾大学 名誉教授
主な政府審議会委員等(平成13年以降)
男女共同参画会議(内閣府)専門委員
内閣府特命顧問
経済財政諮問会議(内閣府)専門委員
観光立国国際推進戦略会議 委員
対日投資有識者会議 座長
消費者行政推進会議 委員

首都大学東京のコミュニケーションマークが決まりました。カラープリント版では掲載



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

できませんので、詳細は大学または同窓会ホームページをご覧ください。

第13期同窓会活動報告 (2016年8月1日～2017年7月31日・平成28年8月1日～平成29年7月31日)

[2017年7月までの活動予定を含む]

1. 会報の発行
TMU12号 2016年11月20日発行33,839部
TMU春季会報12号 2017年5月発行予定
*臨時会報の呼び名は、12号からTMU春季会報とすることになりました。
2. 交流会、新年会・講演会の開催
交流会
2016年11月5日(土) 南大沢キャンパス
国際交流会館 ルヴェンソングェール
出席者 招待者16名 会員・準会員194名
新年会・講演会
2017年1月29日(日) 14:30～
於 明治記念館
講演会:新春一席と講演 《落語よもやま噺》
立川寸志 本名 小田部信英(都38期史学)
新年会出席者
招待者10名 会員・準会員125名
3. 理事会の開催
第85回理事会2016年8月17日～
第89回理事会2017年3月15日(5回開催)
第90回理事会2017年5月17日～
第91回理事会2017年7月19日(2回開催予定)
4. 第13回評議員会の開催
2016年10月15日(土) 荒川キャンパス
出席 会長 副会長3名
評議員64名 委任状96名 計160名
事務局2名
議題: 第12期活動報告
第12期決算承認
第13期予算の審議・承認
5. 第13回総会の開催
2016年11月5日(土) 15:00～
南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室
6. 支部の活動
総会等開催支部
北海道支部(2016年11月19日(土))
東北支部(有志懇親会 2016年6月25日(土))
関西支部(2017年6月10日(土) 予定)
九州支部(2017年2月19日(日))
シンガポール同窓会(忘年会・歓迎会
2016年12月12日(月))
*今期より、支部総会に、幹部のほか、広報委員会
委員が取材出張(今期は北海道支部)
7. 八雲クラブ
毎月第2水曜日 八雲サロン開催(計8回)
毎月第4水曜日 八雲カフェバー開催
(2016年2月より開始)
8. 学生支援
・プロジェクト奨励賞
第4回助成金の交付 2016年8月3日(水)
① 代表者 吉田 俊
TMU-SFC・体験!化学実験実行委員会
大学祭期間中に開催する「体験!化学実験2016」
及び学外で実施する「出張!化学実験教室」
② 代表者 木村 汐里
ネットワークデザインスタジオ有志
「過疎化が進む集落での子ども向け行事の復活」
③ 代表者 長田 光平
荒川キャン東北応援隊
「岩手県陸前高田市におけるボランティア活動」
④ 代表者 真壁 健二
「CORE」
システムズエンジニアリングの手法を用いた
ハイブリッドロケットの製作活動
第5回の募集は2017年5月に開始、7月表彰式予定
・スポーツ・文化活動賞
スポーツ・文化活動賞「同窓会長特別表彰部門表彰
(旧ファイティングスピリット賞)」の授与
2017年3月17日(木) 10:00～
① 代表者 草刈 洋樹
体育会軟式野球部
第37回東日本大学軟式野球選手権大会「準優勝」
② 代表者 甲賀 真広(個人)
日本e-Learning学会において奨励賞を受賞した
テレビ会議システムによる遠隔教育の試み
③ 代表者 天目 岳志
首都大学東京鳥人間部T-MIT
第39回鳥人間コンテスト2016タイムトライアル
部門準優勝
④ 代表者 真壁 健二
CORE
伊豆大島ロケット共同打上実験におけるタイプ
エス最優秀賞及び、準優秀賞の受賞
*これまで同窓会が行ってきたファイティング
スピリット賞と大学のスポーツ・文化活動賞
は統合され、スポーツ・文化活動賞「同窓会
長特別表彰部門」と「課外活動部門」となった。
- ・大学祭への支援
大学祭実施本部への支援
・青鳩祭 2016年10月15日(土)～16日(日)
・みやこ祭 2016年11月3日(木・文化の日)
～5日(土)
- ・対大阪府大戦支援
第65回定期戦2017年7月7日(金)～9日(日)
於:南大沢キャンパス 予定
9. 大学との共催、協賛事業
①寄付講義の提供
同窓会提供の寄付講義を、2016年度も後期から「教
養科目群」の講義「日本の産業と企業」のテーマの
もとに開講。同窓会は、「八雲同友会」、「MeC(メ
トロポリタンキャリアーズ)」の協力のもと、講師を
派遣。2016年度は科技大卒業生による講師派遣が
実現。これにより、2016年度寄付講義の講師は、旧
4大学すべての卒業生によって構成されることにな
った。
②スポーツ文化活動賞副賞の贈呈
大学のスポーツ・文化活動賞と同窓会のファイティ
ングスピリット賞は2016年度から統合されたが、同
窓会は、「同窓会長特別表彰部門(旧ファイティン
グスピリット賞)」として表彰を行うと同時に、大
学の行う課外活動部門表彰に対して、引き続き副賞
を提供。
③成績優秀者の表彰
2016年9月27日(火)
149名に記念品を贈呈
10. ホームカミングデーの共催
・講演会の提供「ドローンの衝撃と近未来」
2016年11月5日13時～14時
講師:野波健蔵千葉大学特別教授
(都立大1979年博士課程修了)
・各種イベントに対する協賛、立て看板の増設によりホ
ームカミングデーの周知・盛り上げを図った
11. 首都大学東京卒業式
平成28年度学位授与式(卒業式)
2017年3月20日(月・春分の日) 10:00～
於 東京国際フォーラム
会長より、各学部・コースの成績優秀者(8名)に記
念品贈呈
学部卒業生1,593名 院修了者754名
12. 首都大学東京入学式
平成29年度入学式
2017年4月7日(金) 14:30～
於 東京国際フォーラム
会長出席して挨拶
学部入学生1,669名 大学院入学生827名

事務局からのお願い

情報提供のお願い

情報発信の重要性は言うまでもありません。同窓会関係でも、最近、HPや会報の記事を見てという問い合わせが増えております。同窓会としても、現在、同窓会に関する情報を会員あるいは外部に積極的に発信することの重要性を感じており、その点に力を入れたいと考えております。ただ、現状は、不十分と言わざるを得ません。

なかでも、発信したい情報の収集に苦慮しているのが現状です。限られた現在の体制、人員ではこれ以上の充実はなかなか困難な状況です。これを改善する大きな手段は会員の皆様からの情報提供です。

ぜひ、皆様から積極的な情報提供をいただき、ホームページ等の充実に努めたいと考えます。それによって、同窓会に対する注目度が高まり、それがさらに同窓会活動の活発化につながるものと考えております。

ご協力をお願いいたします。

会費の払い込みと住所・勤務先等の変更届のお願い

維持会費は、同窓会活動にとって極めて重要な財源です。

様々な活動の基になる同窓会名簿の管理、現役学生への支援、会報の発行、様々な行事の実施等の資金源となります。

本来、同窓会の経常的運営に必要な経費は、維持会費によって賄われるべきものと言えます。

12期（平成27年8月～28年7月）で見ますと、一般会計の支出総額約3290万円に対し、維持会費収入は、約670万円、約20%にしかありません。財源の多くを入会金に頼っているのが、実情です。

同窓会の安定的運営のために、維持会費の納入のご協力をぜひお願いいたします。

維持会費は、年額3千円です。なお、終身会費制度もあり、3万円納めていただきますと、以後年会費は納入不要になります。

会費につきましては、本会報に同封いたしました、「払込取扱票」（赤字で印刷された用紙）により納入をお願いいたします。払い込みは「郵便局」のほか「コンビニ」をご利用ください。なお、利用可能なコンビニは、払込取扱票の裏面に記載されています。

「住所等変更届」は、変更があった都度、変更項目を明示のうえ、同封の「住所等変更届」の該当欄各項目を記載し、ファックスまたは郵便でご一報ください。お手元に「変更届」がない場合は、メールでご連絡いただいてもかまいません。

とくに住所につきましては、一度連絡が途切れてしまいますと、それ以後会報等のお届けなど同窓会からの連絡手段がなくなり、いわば同窓会と絶縁状態になります。ご面倒ですが、ぜひご連絡をお願いいたします。

連絡先

首都大学東京同窓会事務局

〒192-0364 八王子市南大沢1-1 首都大学東京内

電話：042-670-7702

FAX：042-677-2894

Email：tmu-al@tmu.ac.jp

担当：松浦・杉村

（参考）

首都大学東京同窓会規約抄

（会員の責務）

第6条 会員は、本会の事業に積極的に参加し、会費等の納入を果たし、住所・氏名及び勤務先の変更があったときは、速やかに変更事項を本会事務局に届け出るものとする。

（入会金）

第7条 本会の入会金は、2万円とし、大学の学部又は大学院に入学したときに納付するものとする。

（会費）

第8条 本会の会費年額は、次のとおりとする。

1. 正会員 3千円 ただし、3万円を一括納付することにより以後年会費を納付することなく、終身会員とすることが出来る。
2. 特別会員 正会員に準ずる。
3. 賛助会員 一口5万円
4. 名誉会員 納付を要しない。

（入会金・会費の不返還）

第9条 既納入会金、会費及びその他の拠出金は、これを返還しないものとする。

北海道支部総会出席報告

2016年11月19日（土）、KKR札幌にて首都大学東京同窓会北海道支部の第13回定時総会が開かれました。過去、同窓会の支部総会の報告は会報TMUで紹介されていましたが、今回は同窓会の広報委員の目で見えた支部総会の報告です。

北海道支部の歴史は都立大学時代にはじまります。今回総会で配布された資料によれば第1回総会は1995年に開催され、49人の出席者があったことが記載されています。

今回は28人の支部会員が参加され、本部から参加した林副会長と根谷崎広報委員を加えて、30人の参加者がありました。全道にはこの10倍程度の支部会員がいるようですが、広いエリアを擁する支部なので遠隔地の支部会員の参加は難しいようです。

総会は松田副支部長の開会宣言に続いて林同窓会本部副会長のあいさつで始まり、笹田支部長による活動報告、会計報告、役員改選と型どおりすみ、次期支部長に星野高志氏を選出し、懇親会に移りました。（文責 根谷崎武彦）



林同窓会本部副会長のあいさつ

南大沢キャンパスで「銀杏伐採式」が行なわれました

2016年12月27日、南大沢キャンパスで「銀杏伐採式」が行なわれ、教職員・学生・同窓生ら約40人が参加しました。牧野標本館が手狭になり増築が決まり、植樹が一部伐採されることになったのを受け教員有志の呼びかけで行なわれました。伐採予定の樹木の中には、旧東京都立大学目黒・深沢キャンパスから移転してきた銀杏の樹木35本の中の2



本も含まれていました。目黒校舎で学んだ同窓生の皆様はA棟B棟の間の銀杏並木を覚えておられることと思います。この並木は「松田こかげ」と呼ばれていました。木陰の下にあったその名を刻んだ小さな石碑も移転とともに南大沢に運ばれ、講堂の裏手におかれています。「松田こかげ」の誕生ストーリーは1939年、首都大・都立大の前身の旧制府立高校の時代に遡ります。第2回生の松田誠一氏は同年5月5日に満州事変から始まる十五年戦争における府立高校で最初の犠牲者となりました。後日親族より校友会に二百円の寄付があり学校は彼が在学中、蹴球（サッカー）部で活躍したことにちなんで西側のグラウンドのゴールポストの方向に続く銀杏並木を整備し「松田こかげ」と命名し彼の名を永遠にとどめることにしました。同窓会との縁のある銀杏でもあり、この度の「伐採式」には同窓生も多く参加されました。参加者はヘルメットを被り考古学教室の山田昌久教授が再現した縄文人の石斧をかわるがわる振っていました。

褒賞などを受賞された会員を ご存知の方は、ご連絡ください

毎年かなりの会員の方々が、褒賞など受賞されます。会報の紙面でお祝いを申し上げたいと考えますが、同窓会では情報をなかなか把握できません。身近な情報をご存知の方は是非ご一報をお願いします。

FAX 専用回線の新設

これまで事務局の FAX は電話と回線を共用していましたが、それぞれ専用の回線を使うことにして、2016年8月より運用を開始しました。これまでのところ、順調に稼働しています。

平成 29 年度 首都大学東京 教員免許状更新講習の開設について

平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されました。本学では、教職課程を有する大学として、本学卒業生に対する責任及び社会貢献を果たすものとし、毎年、現任教員を対

象にした講習を実施しております。

本学卒業生で受講対象者となられる方は、是非、懐かしい母校のキャンパスで講習を受講してみませんか。

平成 29 年度 首都大学東京 教員免許状更新講習 開設一覧（予定）

月 日	曜日	講習時間	講 座 名	定員
8月7日	月	6時間	【必修】教育の最新事情	50名
8月8日	火	6時間	【選択必修】学校、家庭、地域の連携	50名
8月9日	水	6時間	【選択】授業での ICT とマルチメディアの活用	25名
		6時間	【選択】物理における最新の研究と物理の授業法	25名
		6時間	【選択】歴史学研究の現状と課題	25名
		6時間	【選択】多文化・多民族共生と教育	25名
8月10日	木	6時間	【選択】物質化学・科学分野における最新の研究と化学教育	25名
		6時間	【選択】部活動の現状と生涯にわたって役立つ価値を導くためのマネジメントとは	25名
		6時間	【選択】国際交流から考える中等教育・教師像	25名
		6時間	【選択】生徒の質問と対話によるアクティブラーニング：生物を中心に	25名
8月11日	金	6時間	【選択】最近の地理学	25名
		6時間	【選択】アクティブラーニングを取り入れた高校生物授業の進め方	25名
		6時間	【選択】ゲーム理論入門／数列の母関数と漸化式	25名
8月18日	金	予備日	—	—

- * 受講者は、30時間（必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域18時間）以上の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者（都道府県教育委員会）に更新講習修了確認若しくは有効期間の更新のための申請を行う必要があります。
- * 受講者募集期間は平成29年5月16日（火）～平成29年

6月16日（金）の予定です。

- * 詳細は本学の教員免許状更新講習HPをご覧ください。
<http://www.kyomenkosin.tmu.ac.jp/>
問合せ先：TEL 042-677-1111（教務課 教員免許状更新講習担当をお呼び出してください）

2017(平成29)年度入学者一般選抜試験出願状況及び合格者状況

学部	学科	学系・コース	前期+後期					学部	学科	コース・学科	前期+後期					
			募集 定員	出願 者数	出願 倍率	合格 者数	合格 倍率				募集 定員	出願 者数	出願 倍率	合格 者数	合格 倍率	
都市 教養 学部	都市 教養 工学 系	人文・社会系	168	1,030	6.13	217	4.75	シ ス テ ム デ ザ イ ン 学 部	シ ス テ ム デ ザ イ ン 学 科	知能機械システム コース	50	365	7.30	58	6.29	
		法学系	176	1,070	6.08	375	2.85			情報通信システム コース	40	348	8.70	46	7.57	
		経営学系	200	912	4.56	241	3.78			航空宇宙システム工学 コース	40	349	8.73	46	7.59	
		数理科学コース	32	244	7.63	40	6.10			経営システムデザイン コース	40	391	9.78	49	7.98	
		物理学コース	36	221	6.14	46	4.80			インダストリアルアート コース	50	382	7.64	53	7.21	
		化学コース	37	244	6.59	41	5.95			小 計	220	1,835	8.34	252	7.28	
		生命科学コース	28	189	6.75	29	6.52			健康 福 祉 学 部	看 護 学 科	55	315	5.73	64	4.92
		電気電子工学コース	29	201	6.93	42	4.79					理学療法学科	30	128	4.27	31
		機械工学コース	29	370	12.76	39	9.49			作業療法学科	30	141	4.70	31	4.55	
		理工学系小計	191	1,469	9.69	237	6.20			放射線学科	30	162	5.40	31	5.23	
小 計	735	4,481	6.10	1,070	4.19	小 計	145	746	5.14	157	4.75					
都市 環境 学部	都市 環境 学 科	地理環境コース	22	147	6.68	23	6.39	合 計	1,248	8,561	6.86	1,654	5.18			
		都市基盤環境コース	37	191	5.16	46	4.15									
		建築都市コース	46	617	13.41	53	11.64									
		分子応用化学コース	43	544	12.85	53	10.26									
		小 計	148	1,499	10.13	175	8.57									

..... 都立大/首都大@シンガポールNEWS

2016年12月12日に中華料理店老東北においてシンガポール在住の同窓生が忘年会を開催しました。今回は特別



ストとして、首都大学東京名誉教授の岡部 豊先生（元理工学研究科長、現国際センター特任教授）と、岡部先生のもとでポスドクとして都立大学に2年間在籍していたシンガポールの元留学生（現シンガポールバイオ情報研究所幹部）、2016年12月からその研究所に派遣されている現役首都大学生（2名）に参加していただきました。シンガポールと首都大学東京との間で「シンガポール科学技術庁バイオ情報研究所派遣プログラム」が締結されたため、今後有志ある首都大の学生が定期的に学びにくる見込みです。未来ある学生を、国際経験豊富な在星シンガポール同窓会の皆さんで応援していきましょう！（詳細は首都大学ホームページ参照）（「都立大/首都大@シンガポールNEWS」から編集して掲載しました。）

海外在住または今後海外へ転勤等で在住されることになった方へ

・同窓会報の送付について

残念ながら現在は財政上の理由により、海外への会報の送付はいたしておりません。

海外在住の方（あるいは今後在住されることになった場合は、恐縮ですが、同窓会のHPに会報をアップしておりますのでこちらからご覧いただきたいと存じます。なお、ご希望の方には、留守宅等国内の住所にお送りいたします。

・海外同窓会のご連絡のお願い

首都大学東京同窓会の会員は、広く世界の各都市に在住していらっしゃいます。

とくに、主要都市においてはかなりの同窓生が在住されているとお聞きします。またそのような都市においては、同窓会員同士の集まりがもたれているのではないかと推測

いたします。

つきましては、お願いですが、各地の同窓会の情報を同窓会事務局までお知らせいただければ大変ありがたく存じます。今後、会報やHPに積極的に取り上げていきたいと考えております。今年、「シンガポール都立大・首都大学同窓会」の会合の様子が、HPや会報に搭載されるとともに、規約に定める各種同窓会に登録されました。それをきっかけにして、シンガポールでは現地同窓会と留学生、留学先の幹部を交えた会合が2016年12月に開催されました。

このように情報をいただき、それを発信することによってさらに新たなつながりができるといった循環が生まれることを期待しています。

ご連絡ぜひお願いいたします。

訃 報

ご逝去された名誉教授の方々等及び事務局にお知らせのあった同窓の方々を
謹んでご報告申し上げ、心からの哀悼の意を表します。

氏 名	所 属	逝去年月日	氏 名	所 属	逝去年月日
神 崎 繁	名 誉 教 授 (都立大人文学部)	2016・10・20	繩 手 隆 男	都05・工・機械	2014・04・20
白 尾 恒 吉	名 誉 教 授 (都立大理学部)	2017・02・21	宇田川 正 則	都06・工・機械	2016・10・31
家 城 大 海	都15・経・経済	2013・12・15	平 島 清 行	都12・工・土木	2016・06・23
中 川 隆 三	都04・工・工化	2016・06・21	藤 村 輝 昭	都16・工・建築	2016・11・16
田 戸 啓 司	都05・工・工化	2015・01・14	岡 林 忠 志	都01・理・化学	2016・10・23
瀧 嶋 弘	都11・工・機械	2016・10・13	松 延 廣 幸	都02・理・物理	2016・03・06
川 瀬 進	都02・工・工化	2016・08・22	加 藤 政 雄	都07・院理・化学	2016・07・30
桐 谷 雄 二	都04・人文・経済	2016・10・11	野 田 清 人	都11・院工・土木	2016・04・09
本 間 宏	都04・人文・経済	2016・04・23	長谷川 功	都21・工・建築	2016・11・26
中 村 直 英	都25・法・法律	2016・11・18	須 長 誠	都23・工・土木	2016・02・27
渡 辺 元	都41・経・経済	2016・11・19	吉 田 充	都18・工・工化	2016・03・21
都 築 聿 之	都09・法経・経済	2016・11・02	石 村 理 雄	都21・経・経済	2012・04・16
平 野 宣	都16・工・土木	2016・11・00	市 橋 恭 二	都10・理・化学	2016・05・24
今 井 忠 男	都04・人文・史学	2016・07・26	岩 上 嘉 雄	都03・工・土木	2016・01・02
高 橋 良 和	都02・人文・法学	2016・08・09	松 本 一 彦	都02・人文・経済	2016・09・13
天 野 進 平	都04・人文・経済	2016・08・03	武 田 幸 夫	都02・人文・経済	2004
長 沢 市 郎	都04・人文・法学	2016・01・16	入 軽 井 悦 子	医07・医技短・作業	2016・06・28
森 田 健 一	都02・理・化学	2016・11・17	宇 野 久 生	都23・人文・教育	2007・01・12
石 田 堯 嗣	都05・工・機械	2016・08・09	山 崎 俊 男	都05・人文・教育	2016・07・01
福 澤 榮 治	都16・工・建築	2016・11・08	阿 部 大 三 郎	都06・法経・法学	2016・10・13
小 木 雄 二	都13・院工・電気	2014・11・15	林 敏	都23・院人・中文	2015・12・26
上 田 健 一	都02・人文・経済	2008・05・26	菊 地 哲 也	都01・工・工化	不明
坂 本 雄 次	都26・人文・心理	2016・08・08	高 野 保 夫	都07・法経・法学	2016・12・22
矢 野 幸 江	都50・人文・社福	2016・10・27	小 暮 勝 也	都15・工・工化	2016・09・20
石 原 健	都06・法経・経済	2016・04・08	瀨 良 和 征	都16・理・地理	2016・08・27
吉 田 茂	都08・法経・法学	2016・08・04	久 保 繁 男	都13・工・機械	2017・01・31
仙 石 穰	都17・法・政治	2016・02・23	下 山 昌 孝	都08・工・機械	2017・01・25
吉 田 宏 男	都02・理・物理	2016・10・04	福 田 明	都20・工・土木	2016・12・20
児 玉 紀	都07・理・数学	2016・05・30	安 江 弘	都07・法経・法学	2017・02・04
佐 藤 喬 亮	都10・理・化学	2015・12・01	古 賀 信 行	都01・工・工化	2016・12・28
			八 町 祥 子	都07・人文・社会	2017・02・09
			渡 部 力	都01・理・物理	2017・02・06
			滝 尻 彰	都20・経・経済	2016・12・22

* 会員の訃報を知った方は、事務局までお報らせください。

..... 年会費納入状況欄の説明

会報と一緒に送っている「年会費納入状況」欄についてご説明します。

同封の赤字印刷の「会員の皆様へ」をご覧ください。

- (1) 維持会費の払い込みは、郵便局のほかコンビニでもできます。
- (2) 同窓会の年会費の納入状況は、年度（4月～3月）により管理しています。

会報は年2回（5月と11月）発行しており、その際「会員の皆様へ」と払込票を同封しておりますので、これをご利用ください。

- (3) 「納入状況」の表示について

会費をお支払いいただいている方には、「納入状況」欄に年度ごとに「納入済」（終身会費を納入された方は「納

入不要」）を印字しております。なお、納入状況は、毎年度3月31日現在、及び9月30日現在で記載しております。

(4) 次期以降2期以上の維持会費をお支払いいただいた方については、当同窓会の会員管理台帳上では、「預り金」として、従来と同様管理いたします。

(5) 同一年度内に重複（2回）して、払い込みをされた方については、当年度を含めて4年以内に未納の年度がある場合には、その年度分に充当させていただいております。また、未納がない場合には、「預り金」として、管理して、次年度になった時に、当年度分として入金処理をさせていただきます。

(6) 「個人情報の保護」の観点から、払込票には、住所を記載しておりません。**で表示しております。

首都大学東京同窓会 みやこ祭記念イベント 記念講演会・総会・交流会・オープンキャンパス

本年11月3日（金曜日・文化の日）、南大沢キャンパスで盛大に開催される大学祭「みやこ祭」（11月2日～4日）に合わせ、本年もホームカミングデーが行われます。同窓会も記念イベントを開催します。

昨年のみやこ祭には、5万人の方が来訪されました。今年もこの機会にぜひ大学祭の雰囲気を楽しみながら、紅葉の樹々に囲まれたキャンパス、研究室、実験施設、大学展示室をお訪ねください。

首都大、都立大、科技大、保科大すべての同窓生の皆様 交流会には、同期、ゼミ、サークルなど、お誘い合わせてグループ参加申し込みもできます。ご夫婦、ご家族での参加も歓迎です。グループで申し込むと会費が割安になります。大学キャンパスでの久々の再会と新たな出会い、先輩・後輩・現役学生らとの交流をお楽しみください。

南大沢キャンパスへは京王相模原線南大沢駅下車5分、南大沢駅は新宿から直通特急で最速33分、新横浜駅から最速43分です。直通特急、準特急は、新宿から20分間隔で運行され、便利になりました。

記念講演会・総会・交流会・オープンキャンパス

日時 2017（平成29）年11月3日 金曜日・文化の日

記念講演会 13時～14時

総会 15時半～16時

交流会 16時～18時

オープンキャンパス 11時～16時

（時刻は予定です。スケジュールの詳細など最新情報は、

同窓会ホームページでご案内します）

総会会場：南大沢キャンパス 国際交流会館 大会議室

交流会会場：南大沢キャンパス 国際交流会館 レストラン

ルヴェソンヴェール南大沢

交流会事前申込み会費

お一人様 3,500円（同伴の高校生以下 1,500円）

ご夫婦 6,000円

団体申込 5名～9名のグループ 1名3,000円

10名以上のグループ 1名2,500円

*当日申込は1名4,000円です。

事前申込方法

*申込用紙は、同窓会ホームページからダウンロードできますが、ご一報いただければお送りします。

*グループ参加の場合 グループ名（例えば〇〇ゼミ××期の仲間）、代表者名、メンバー会員の氏名・卒期・学部・住所・電話番号（よろしければ勤務先・元勤務先）を同窓会事務局までご連絡ください。

*申込期限 2017（平成29）年9月30日

*事前予約された方には、当日 名札を用意致します。また交流会会場にはグループが集まれる「島」を用意します。

問合せ先 首都大学東京同窓会・イベント委員会

電話 042-670-7702

ファックス 042-677-2894

メール tmua-al@tmu.ac.jp

詳細は、ホームページ首都大学東京同窓会

検索

第14回評議員会を日野キャンパスで開催

今年の評議員会は、日野キャンパスで開催することになりました。

場所 システムデザイン学部日野キャンパス

日程 2017年10月21日（土）

日野キャンパスの見学ツアーも計画しています。

評議員の皆様には、最先端の設備を備えた日野キャンパス見学もお楽しみください。

（詳細は、決まり次第同窓会ホームページでご案内します）



編集後記

この12号から「臨時会報」という呼称を改め1ページのように明るく「春季会報」としました。

同窓会報の編集の仕事にかかわって15年になり、編集の責任者として2年を過ぎました。仲間の皆さんのご協力により、何とか期日間に合うよう発行してきました。発行の都度思うことは、会員の皆様にご満足いただいているかどうか不安な気持ちで一杯です。

最近、若い会員の方から多額の費用を投じてもらったというご意見をいただきました。制作費そのものは長年にわたり、お付き合いいただいた印刷所の協力、あえてモノクロで印刷してきたこともあり、相当安くできていると自負してきました。同窓会報を発行することは、会員のみならず自分が自分統合前の都立大、科技大、保科大、現在の首都大学東京の同窓生であることを、毎年春・秋だけでも自覚されればと、形のあるものが手元に届き、その証として発行してきましたが、如何なものでしょうか。

理事長の交代、大学のロゴマークの発表、同窓生や母校の様々な話題を知ることは楽しいことではないでしょうか。

以上、責任者として思いつくままに記しました。（TMU編集委員長 野原 剛）

首都大学東京同窓会・広報委員会 会報編集委員

（委員は五十音順）

広報委員長 黒川 信（都28期・生物）

委員 若沢 清隆（都17期・建築）

稲野辺 久智（都54期・史学）

小原 弘道（都03期・機械）

久崎 力（都09期・電気）

齋藤 夕子（医01期・地域）

関根 紀夫（医01期・放射）

根谷崎 武彦（都10期・化学）

藤田 貴男（都44期・機械）

横山 英明（都43期・化学）

編集委員長 野原 剛（都04期・化学）

編集委員 村山 祥彦（都05期・経済）

編集委員 加藤 充子（都09期・経済）